

# Narashino International Association



Narashino International Association

## NIA SQUARE ファウエア

Quarterly News

第59号

2002年9月1日  
習志野市国際交流協会

Special  
What's New  
Report  
Report

シンガポール  
世界で活躍する指揮者  
タスカルーサの若い風  
N.I.A.事業報告

N.I.A Youth

Who's who

Challenge

SSサロンがスタート

こんにちわ・コンニチワ

ザ・英文クロスワード

### シンガポール…多民族国家の魅力

かめいやすこ  
亀井靖子（編集部）

「こんにちは。」かわいらしい笑顔とともに私たちの前に現れたのが今回インタビューをお願いしたフィテンさん。政治学を学んでいる大学院生で、2000年4月から日本に留学しています。日本語は中学校の頃から第3言語として勉強し始めたとのことで、とても流暢な日本語で私たちのインタビューに答えてくださいました。

さて、みなさんが「シンガポール」と聞いて連想することは何でしょうか？私のイメージは「ゴミがなくクリーンな国」というものでした。他の人に尋ねてみると、「多民族国家」とか「マーライオン」とか「インターネットや情報化が進んでる」などの答えが返ってきました。なるほどと思えますが、どの答えもシンガポールの一部しか表していないような気がします。そこでフィテンさんへのインタビューから、もう少しシンガポールの素顔を覗いてみたいと思います。

#### シンガポールの基礎知識：

シンガポールは正式名を「シンガポール共和国（Republic of Singapore）」といい、イギリスの提督スタンフォード・ラッフルズ卿が1819年、貿易拠点として開拓したのが始まりです。1965年8月にマレーシア連邦から完全独立をしました。現在のシンガポールの名前は14世

紀にまでさかのぼり、この島を訪れていたスリヴィジャヤの王子が、ライオンに似た動物を目撃したという言い伝えから「シンガ・ペラ（ライオン・シティ）」と呼ばれるようになりました。ちなみに有名なマーライオン像のライオン部分は、この国の名にちなんでいます。そして、下半身は海に囲まれていることから魚の形になりました。

国土は日本の淡路島とほぼ同じ618km<sup>2</sup>と小さく、そこには389万人（1999年）の人が住んでいます。千葉県の人口が約600万人（平成14年5月現在598.7万人）ですから、約その3分の2弱と言えます。また、都市国家のため首都はありません。

住民は中国系76%、マレー系15%、インド系7%という民族構成になっています。使用言語も公用語である英語を中心に、中国語、マレー語、タミル語が話されています。まさに多民族国家と言えるでしょう。

日本から飛行機で6時間半の距離にあるシンガポールは、赤道直下に位置しています。平均気温が26~27°Cと暑い上に湿度も高く、日本の真夏が一年中続いているといった感じです。当然シンガポール人は夏服しか持っておらず、コートなどの防寒服は海外旅行のためだけに購入するようです。また、11月から2月にかけてが雨期にあたり、観光にはあまり適さないそうです。シンガポールの雨は傘も役に



シンガポールの象徴マーライオン像

立たないほど激しく降りますが、30分ほどもすると今までの雨がうそのようにカラッと晴れます。



チャイニーズニューケーのチャイナタウン

## 言語について：

シンガポール人は、母語（中国語・マレー語・タミル語）と英語の両方を使って生活しています。今回取材したフィテンさんは中国系の両親を持つため、中国語と英語、どちらの言語も同じレベルで意識することなく使いこなせるそうです。

一般に学校では英語を使って授業が進められます。一週間に5コマ前後、母語（マレー語、中国語、タミル語）の授業（日本でいう国語）がありますが、他の授業はすべて英語で行われるため、母語の危機が訪れているといわれています。

日本語だけで生活できる日本に住んでいると、使用言語の多さに驚く人も多いかと思いますが、これが多民族国家の強い部分であり、またおもしろい部分でもあるでしょう。

日本人の英語力について訪ねると、「日本人の英語に対する努力は目を見張るものがあると思います。」という答えが返ってきました。確かに日本には、数多くの英語の本や教材、そして英会話スクールがあります。そして、今は国を挙げて英語力の強化に力を注いでいます。しかし、フィテンさんは「日本では日本語が話せれば何の問題もなく生活できます。環境が英語を必要とするものでない限り飛躍的に英語力を伸ばすというのは難しいかもしれません。」と言います。また、「英語は絶対に必要なものでもなければ、話せるからエライとかそういうものではありません。その前に日本語をしっかり勉強することが大切だと思います。シンガポール人の中には英語が使えることに対してプライドを持っている人がいますが、それは大きな間違いだと思います。」とも。もちろん英語を使えれば便利ですが、その前にやるべきことも多いかもしれません。

## 生活編：

クリーンな国として有名なシンガポール。タバコやガムのポイ捨てなどは非常に厳しく取り締まりが行われています。ガムにおいては国内では販売されていません。しかし、おもしろいことにゴミの分別はしないそうです。フィテンさんは、日本がきちんとゴミの分別をすることに始めは驚いたとのことです。国によってゴミに対する考え方もずいぶんと違うものなのですね。

交通機関は、バスやタクシーもありますが、MRT (Mass Rapid Transit) という地下鉄が主流です。駅のホームは、東京都内を走る南北線のようにガラスのスクリーンで仕切られています。

## 学校のシステム：

基本的には、幼稚園2年間（5-6歳）、小学校6年間（7-12歳）、中学校4年間（13-16歳）、高校2年間（17-18歳）ですが、3歳から保育園に行く子供もいます。私立の学校は少なく、ほとんどが国立の学校です。一年の流れは、前期は7月から始まり11月半ばに終わります。12月はクリスマス休暇で、後期は1月2日から3日から始まります。気候は変わりませんが、6月が一応夏休みです。季節がないため、日本のように春休み、夏休み、冬休みという流れがないそうです。おもしろいですね。

また、シンガポールには、日本のような給食はありません。各自がカフェテリアに行って好きなものを購入するというシステムになっています。小学生の頃からそのようにお昼を取っているのですから驚きです。お金を使って買い物をすることやその管理を身に付けることが一つの勉強と考えられているようです。

## 祝日・お祭り：

シンガポールは多民族国家であることも手伝って、お祭りが非常に多いそうです。各民族にはそれぞれ独特な祝日があります。特に「新年」は民族ごとに異なるので年に4回行われます。民族ごとに宗教が違うことも大きくかかわってきます。中国系は仏教、インド系はヒンドゥ教、マレー系はイスラム教、そして西欧から来たキリスト教の影響もあります。中国系の人々は日本で言う旧正月に中華新年を祝い、キリスト教では12月25日のクリスマスと1月1日の新年を祝います。インド人、タミル人は11月にフェスティバルを行います。そして、マレー人はラマダーンで断食に入ります。他にもまだ色々あるとのことで、シンガポールでは本当にさまざまな祝日・お祭りが行われていることに驚きました。

## ぶんか 文化：

西欧と東洋とともに受け入れる体制が出来ており、多様性を持った社会です。学校では英語で教育が行われているため西欧の思想が多く入ってきます。一方、生活面ではアジア的な家族を大切にする感覚が残っています。また、日本がバブルで盛り上がっていた1980年代や90年代には、シンガポールは日本の技術やトレンドを学び、取り入れました。フィテンさんが日本語を学びだしたのもその頃です。西欧、東洋を問わず、さまざまな情報が得られる理由は、国や民族を問わず柔軟にその国のいい点を吸収するところに端を発しているのではないですか。

では、日本はどうでしょうか。フィテンさんの指摘では、「日本は西欧に目が向きすぎていると思うので、もっとアジアに目を向けてもいいと思います。」とのこと。また、「日本が欧米の方を向いてしまうのにはアジアの国々にも責任があるでしょう。」との意見もいただきました。「アジアの国々は、歴史的事実は事実として置いておいて、もっと日本に友好的になってもいいと思います。歴史にこだわりすぎるのちよつと問題かもしません。シンガポールでは第2次世界大戦の虐殺などの悲劇をドキュメンタリーなどで放送し、老若男女を問わず事実として歴史を受け止めています。そうした事実を知った上で、新たな世界を切り開くために、国境を問わず手と手を携えていくことが大切だと思います。」日韓共催で行われたワールドカップをはじめとして、日本が徐々にアジアとの交流を促進しているのはとてもいい傾向だと思います。

## かんこう 観光：

街歩きにしても、食事にしても、さまざまな民族が住んでいるだけに楽しみが尽きないのもシンガポールです。そんな中でフィテンさんがお勧めするスポットと料理を紹介していただきました。

まずは観光スポットですが、「シンガポール動物園」と「ナイト・サファリ」そして「マンダイ蘭園」の3ヶ



パークにて

所をお勧めしてくれました。「シンガポール動物園」と「ナイト・サファリ」はお隣どうしにありますが、フィテンさんのお気に入りは1994年の6月に新しくオープンした「ナイト・サファリ」だそうです。夜間専用の動物園は世界でも珍しいですが、昼間は寝てばかりの夜行性の動物が活発に動く様子を間近で見るのは感動的だと声を弾ませて話してくれました。また「マンダイ蘭園」で色とりどりに咲き乱れる蘭はシンガポールの国花だそうです。

続いては料理ですが、さすがはシンガポール。中華料理を始めとして、インド料理、マレーシア料理、そしてインドネシア料理、ニヨニヤ料理とさまざまです。ニヨニヤ料理とはマレーシア料理と中国料理の特徴を併せ持つもので、中国系移民を父に、マレーシア人を母に持つ娘を「ニヨニヤ」と呼ぶことから名前がついたそうです。そしてこれらの料理がすべてそろっているのが「ホーカーズセンター」。「ホーカーズ」とは行商人のこと、昔はラーメン屋のような移動屋台で営業していましたが、衛生面から路上屋台が禁止されたため、屋台街を作ったそうです。ガイドブックの「ホーカーズセンターの人気メニュー」という写真つきのページを見ながら、フィテンさんがお勧めしてくれた料理を紹介しましょう。

**サテー：**甘辛いタレをつけて炭火で焼いたマレー風焼き鳥。タレはピーナツと唐辛子がベース。

**ハイナン・チキン：**さっぱりしたタレをかけて食べる蒸鳥。

**ムルタバ：**カレー粉と具をおり込んだインドのお好み焼き。とても辛い。

**オタ・オタ：**バナナの葉で包んで蒸した魚のすり身。マレー風。香りがとてもよい。

**チリ・クラブ：**蟹の甘さとチリ・ソースが絶妙。

**ドリアン：**癖のある（においが臭いらしい）フルーツ。フィテンさんはその癖が病み付きになると言っていました。

ドリアンの話から、日本の果物では何が好きかと聞くと、「日本のイチゴは美味しい。」と嬉しそうに語ってくれました。日本人はミカン・りんごをよく食べているというイメージがあるそうです。シンガポールはフルーツの種類も多く、また、とても美味しいそうです。まだ食べたことのないフルーツに挑戦してみるのもいいかもしれません。

インタビューは歴史や経済、文化、娯楽にいたるまで、実にさまざまな話題で盛り上りました。アジアの文化を持ちながらも西欧の文化を上手に取り入れ、多民族国家として成長しつづけるシンガポール。この国はまだ色々な可能性を秘めているように思いました。フィテンさんのお話を聞きながら、私たちがシンガポールから学ぶべきことは多いように思いました。

# What's New / 世界で活躍する指揮者・武藤英明氏

萱場あさみ（編集部）

◆◆素晴らしい音楽は人類の財産

—「宝物をみつける感性を育ててほしい」

習志野市の文化の要である習志野文化ホールが6月1日、リニューアルオープンしました。いくつかの記念行事の中で、来る10月18日に行われるチェコ・プラハ管弦楽団でタクトを振るのは、習志野市立大久保小学校、第二中学校出身の武藤英明さんです。国際的な舞台で活躍している指揮者で、チェコのプラハを拠点に世界各国を東奔西走されています。

武藤さんにお話を伺って、指揮者とは精神的にも体力的にも非常にハードな職業であると改めて認識させられました。オーケストラを指揮するということは、作曲家によって生み出された思いの込められた一曲を、演奏家たちのエネルギーを集約して聴衆に伝えるという作業です。その大変な作業を成し得て伝えられるからこそ、私たちに大きな感動を与えてくれるのだと、つくづく納得しました。

習志野市は、音楽の街として市民による活発な演奏活動が行われています。子供たちの音楽水準も全国でも有数のレベルで、小中学校、習志野高校など各校で盛んな音楽活動をしています。これらの小さな音楽家たちが将来、どのように成長し世界に羽ばたいていけるのか。世界の第一線で活躍している大先輩の武藤さんに、お話を伺いました。

— 武藤さんは、どのような少年時代を過ごされ、何をきっかけに現在のような国際的に活躍される指揮者になられたのでしょうか。

**武藤** 私が子供の頃は、日本は高度経済成長時代の真っ只中で、中学では1学年12クラスもありました。ちょうど



チェコ・プラハ管弦楽団

ど中学校1年生の時に二中に吹奏楽クラブができ、生徒数が多かったので何か他と違ったことをしたかった。トランペットは格好良くて魅力的でしたので始めました。もちろん、CDやビデオも無い時代です。そんな中、中学3年生の時に上野の文化会館にバーンスタイン指揮のニューヨークフィルを聴きに行ったのです。凄い世界があるものだと思いました。その時が、漠然と指揮者というものに憧れを持ったはじまりでした。その後、音大に入り、斎藤秀雄先生との出会いにまたまた大きな影響を受けました。

— 海外に長くいらっしゃって、自分が日本人であるということを感じさせられる機会はどのような時ですか。

**武藤** 人種や民族がどうであるかということよりは、結局その一人の人間が成長する時に経験した背景としての「文化」がすべてを表していると思います。「文化」とは生きていく上の知恵です。日本で活躍している外国人の中には普通の日本人よりも上手な日本語を使い、文化的にも素晴らしい見識を持った人がいます。海外で出会った人が何人であるかというのは、意識や感覚でとらえられるし、自分もまたどう認識されているかは背景の「文化」によって、それぞれ違うでしょう。

— 形のあるもの、無いもの、武藤さんにとって大切な「宝物」とは何ですか。

**武藤** この質問がすでにほとんど答えになってしまっています。形の無いもの、値段のつけられないものこそが私にとっての宝物です。モーツアルト、ベートーベンをはじめ、素晴らしい音楽は人類の宝です。このように、お金に換えられないものの価値を見いだせる感性を子供たちに養っていってほしいです。

私は、今の子供たちは非常に賢くなっていると思います。ITを取り、溢れる情報社会の中で大人の醜さ、愚かさをしっかり見ているはずです。だから尚更、子供たちに世の中捨てたものでもないと感じてほしい。砂漠でオアシスを見つけるように、何かを宝物として感じる感性を育ててほしいと思います。

「人は城なり」—文化の伝統を誇りに持つ大切さ

— いつごろから言語に興味を持たれるようになら

くれたのですか。また、それぞれのお国柄、民族性、気質などの違いによって、演奏者への対応はおのずと変化しますか。

武藤 私自身、外国に行って言葉には苦労しました。いろいろな国の言語に接する機会を多く持つとその国の言葉に、興味が湧き自ずと感じてくる何かがあります。言葉というのは、その国の気候、風土、伝統、食生活、そして文化が背景として大きく影響しています。例えば、ロシアには素晴らしいバスの歌手は多くいますが、イタリアにはあまりいない。逆に、イタリア、スペインには素晴らしいテノール歌手は多くいますが、ロシアにはあまりいない。このようなことでしょうか。

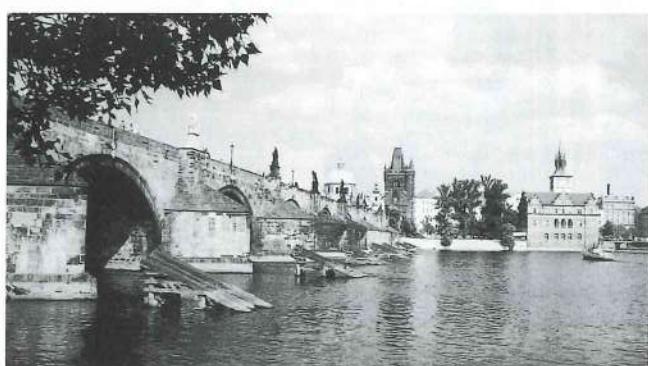
質問の内容とは少しずれるかもしれません、お話しをおきたいことがあります。チェコの人口はわずか1100万人です。他国を侵略した過去もなく、他国の支配を受けた時代があっても決して滅びることもなくきています。チェコの人々は自国の言語、文化、芸術をとても大切にし、それらを自分たちの誇りとして守り、次代に受け継いでいくために努力を惜しません。モーツアルトがプラハで認められ、「ドンジョヴァンニ」や交響曲38番が誕生したことを誇りに思うDNA世代に受け継いできたのでしょうか。スマタナなど偉大な作曲家が生まれたことも、文化的な背景の深さを感じます。「人は城なり」と言いますから、私たちは少なからず学ぶべきものがあると思います。

— もしも、指揮者になっていらっしゃらなかったら、どのような職業に就かれていたと想像されますか。

武藤 ジェット旅客機のパイロットでしょうか。その次はF1レーサーで、外国航路の船長も憧っていました。

— 最後に、習志野の子供たちへのメッセージをお願いします。

武藤 子供のうちに生涯楽しめる何かを一つか二つ始め



ていてください。例えば、楽器の演奏だったり、絵や文章をかくこと、また囲碁や将棋、そして釣りやゴルフなど。歳をとってからでも楽しめるものを持ってください。そうすると、豊かな人生が送れると私は信じています。

少年のような純粋なまなざしと、柔軟な感性を失わずにいらっしゃる武藤さんは、指揮者としての才能に加えて、人間的にもとても魅力溢れる素晴らしい方です。各国のオーケストラを指揮されている豊富な経験が、音楽のみならず多方面への興味と探求心の原動力となっていました。日本とヨーロッパを行き来しての活動は大変でいらっしゃいますが、ふるさと習志野の誇りと、繁栄の一端を担って頑るためにも、益々のご活躍をお祈りいたします。

## [略歴]

桐朋学園大学卒業。斎藤秀雄、ズデニエク・コシュラーに師事。1977年国際バルトーク・セミナーで最優秀指揮者に輝き、以後、プラハ交響楽団FOK、スロヴァキア・フィル、プラハ放送響、プラティスラヴァ放送響等に客演。

1986年プラハ放送交響楽団客演常任指揮者に就任し日本公演を行い、翌年にはスロヴァキア・フィル日本公演、及び、“プラハの春音楽祭”等で手腕を評価された。その後、イタリア、スイス、アメリカ、ドイツ等でも演奏し、1995年にはフランクフルト放送交響楽団を指揮し絶賛を博した。国内では、日フィル、新日フィル、群響、名フィル、大阪センチュリー等と協演。

現在、プラハ放送交響楽団客演常任指揮者、チェコ交響楽団、スロヴァキア・フィルハーモニック・ゾリスト指揮者、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

著書に『スマタナ弦楽四重奏団が語るクワルテットのすべて』(音楽之友社) がある。

今年度の姉妹都市青少年交流事業は、アラバマ州タスカルーサ市のセントラル高校から6名の学生と2名の付き添いが6月14日に来日、24日まで滞在しました。バイロン・フィンドリーさんとジョリーン・スタンフォードさんに引率された生徒達6名のうち、デイビッド・ブラム君とジェシー・パターソンさんは第五中学校へ、ヴァージニア・メリウェザー・パクストンさんとジェフリー・ジェンセン君は第六中学校へ、ウイリー・レイ・パー・ジュニア君とマイケル・ライアン君は第七中学校で、それぞれ学校生活を体験しました。6月15日には歓迎会に出席し、荒木市長、川崎市議会議長や国際交流協会の会員から歓迎を受けました。タスカルーサ市の派遣団を代表してデイビッド・ブラム君が、すばらしい日本語で返礼の挨拶をしました。茶の湯の振る舞いと畳に座る戸惑いは隠せませんでしたが、床の間の書「瀧」に涼を求め、茶菓子と苦い抹茶に一時の静寂を味わいました。滞在中は、市内の中学校で授業体験し、昼食と一緒に取りながら学校生活の楽しさ、クラブ活動の米国との違い、日本の先生や生徒の授業への取り組み方等への印象を腹藏なく語ってもらいました。ここに、彼らが感じた率直な感想を取り纏めてみました。



茶席の作法はむづかしい

るものも選択できるところが、日本と違います。魚や野菜が多いのに気付きました（ジェフリー君、パクストンさん）。すべてがとても興味深いものでした（ウイリー君、マイケル君）。我々のとは大違いでしたが、殆どのものは美味しい、楽しくいただきました（ジェシーさん）と大方は好評でしたが、一方では、私はダイエット中なので、皆さんが特別に調理してくれたにも拘らずおいしくなかった（デイビッド君）ともありました。

日本の先生はとても専門的で、献身的で、まじめで、悠々閑閑としていて生徒から尊敬されている。今何を講義しているか、英語で説明するのは苦手なのに我々に分かるように説明してくれた。生徒達とよく話し合っていた、と殆どの人が異口同音に褒め称えていました。ただ一人だけ、日本の先生は、VERY COOL!と感想を述べていました。

日本の学校は鍛錬の場で、私の経験したものと違いとても厳しく、秩序正しく（ウイリー君、マイケル君）、生徒達が自分達の責任を良く弁えていて、更に昼食や学



歓迎会に日本語で挨拶をするディビット君

(1) 日本での学校生活の印象、楽しかったこと、学校給食、日本の先生や生徒の事等について伺いました。

授業はとても楽しく生徒も熱心に先生の講義を聞いていたのには感銘をうけた（デイビッド君）。私も英語を教えてみたかった（ジェフリー君）。私達に対して生徒や先生達がとても人なつこく、生徒達によるプラスバンドやオーケストラの演奏は素晴らしい（ジョリーンさん）。ただ、先生や生徒達とお話が想うように出来なかつたのは残念でした（パクストンさん）。給食はとても栄養価が高く、良く配慮されている（バイロンさん）。ただ、アメリカではキャフェテリアで、ヘルシイな食べ



市長室訪問、全員でポーズ

校の掃除を自発的にやっている（ジェシーさん）、紀律正しく、組織的で集中的に事が運ばれている（パクストンさん）と言う感想をもったとのことでした。しかし中には、我々の学校と同じく高いだけで、広くはないが、サッカー場には芝生もなく、壁の塗装も剥げ落ち、教室では形式を重んじるばかりで学校に行く意欲が失せそうだ、との意見もありました。

日本の学校のカリキュラムでは、教科が限られていて、選択科目も少ないようだ。何事にも積極的に参加し、先輩や障害者や周囲に十分気を使っていることに感銘を受けた、などの感想もありました。



第七中学校での授業風景

## (2) 今回の習志野訪問での印象も聞いてみました。

日本語を話せずに来たのは至極残念でした。でも通訳の人達がとても親切で、忍耐強く対応してくれました。日本の家庭で過ごすことは、日常の家庭生活を体験できる素晴らしい機会を与えてくれましたし、皆さんとても寛大で助かりました（ジョリーンさん）。

習志野市はとても人が多いが、市の計画に則り機能的に動いているように見えます。住民は親切でお互いを助け合いながら生活しているようです。日本語を習ってまたいつの日か戻って来たいです（マイケル君）。

我々の学生達は一つの新しい文化に触れることができました（バイロンさん）。

楽しかった、そして本でしか知らない日本の色々なことを体験しましたし、行事も全て良かったのですが、一つだけ学校の組み合わせで嫌な思いをしたので次回は参考して欲しいです（デイビッド君）。

最後日の富士山への旅行は素晴らしいでした。でも四日間、我々の全員と離れての学校訪問には検討の余地あ



習志野高校での交流会で折り紙を習う

りや？（ジェシーさん）

習志野はすばらしい、また戻ってくるためのあらゆる努力をする、今から準備を！（ウィリー君）

日本が好きになった、ここにいる人々は地球上で最も素敵な人達、習志野に来れたことに感謝！（パクストンさん）

最後に引率者の一人のジョリーン・スタンフォードさんから、習志野の皆さんに謝辞が述べられていますので、ここに引用します。

The last weekend of sightseeing was a bonus. Thank you for sharing some of your favorite places with us.

All in all, the visit to Narashino will always be in our hearts and minds-especially the friends we have made.

Thank you for your generosity and making all the plans for the success of the 2002 Tuscaloosa delegation.



第一中学校訪問ではオーケストラの素晴らしい演奏で歓迎を

## 小中学生の日本語学習あれこれ

山本禮子（日本語ボランティア）

毎週土曜日、国際交流協会の事務室は、小中学生とボランティアで活気に溢れている。目下、児童・生徒は総勢7人。小学生3人、中学生2人、中学卒業後の来日で夜間中学に通う2人。国籍は中国とフィリピン。これに対しボランティアは9人、原則として2人で隔週担当することにしているが、毎週担当する方もある。大半が習志野市国際交流協会の日本語ボランティア講習修了生であるが、ある大学の日本語教師養成講座単位取得の若い女性が一人、インターネットで習志野市国際交流協会の日本語ボランティア事業を検索して、土曜日の休暇を利用して日本語教育の一端を担いたいと申し出られた方がいる。

さて、学習者を紹介しよう。中国人5人の小中学生は互いに親戚でもあり、まことに仲睦まじい。そのため学校行事や病気での欠席届が当日になるので、ある日、事前の連絡のためにと思って、電話のかけ方の練習をした。しかし、彼等の家庭では父親のみが携帯電話を所持しているだけで、コンビニまで出掛けた不慣れな電話での連絡には、まだ抵抗があるようだ。日本語の学習内容は個々の要望に応じつつ、ボランティアが企画を立て、原則として2人で隔週に担当するので、生徒ごとにノートをつくり、その日の学習内容と宿題等を記録する方式をとっている。夜間中学に通う2人は来春高校進学を希望している。日本語のハードルは高いと思うが、挑戦する姿勢にエールを送りたい。

この5人のほかの2人はフィリピンの姉弟である。いろいろな都合で、まだ学習回数は少なく本人達の緊張はほぐれていながら、フィリピンの友達といふ生き生きした様子を伺ったので、間もなく持ち前の明るさが出てくることだろう。夏休み、特にこの2人に夏期特別プログラムを組んで担当したいとの講師の申し出とともに、他の生徒・講師の要望によるプランも立案し、実施する予定である。

4月に帰国した韓国人姉妹の送別会・七夕まつり・サンバの練習など、折々の遊びの時に見せる子ども達の無邪気さに溢れた童顔がなんとも嬉しい。それぞれの子どもにとって日本語習得は、大変な作業だろう。しかし共に楽しみ、交流を深めながらの習得は、大人と比較にならないほど短期間での学習効果をもたらす。外国人子女の不登校児が少なくないとの情報を耳にする時、今、関わっている小中学生は、どの子も毎日喜んで学校に行き、平日の日中は日本語の渦中にいるといつても過言ではない。

い。大人の都合で来日したとはいえ、親子一緒に生活はもっとも望ましい。少しでも早く日本語に親しみ、かつ母語を忘れないようにしてほしいと念願する。将来の国際人としての彼等の成長が楽しみである。

昨年度の調査（『日本語』7月号）によると、日本語指導を必要とする児童生徒数は全国で2万人近くに上っている。また、近年の動向としては、これらの子どもたちが全国の広い地域に分布し、短期移動が増え、さらに在籍数が一校当たり1~5人の学校が多いことが特長として指摘されている。全国的には、彼等たちに通学義務がないため「不就学」の児童生徒の増加も問題になっている。国際結婚、南米日系人、中国帰国人、その他来日している外国人の子ども達に対しての人道的な対応が要請される。

各小中学校に派遣される日本語教師の制度も重要であり、いっそうの充実が望まれる。それと共に学校が5日制になった今、本協会が実施している土曜日を活用しての小中学生対象の日本語学習は時機を得たものといえよう。日本語になじむまでのオアシス的役割も兼ね備えた学習の場を提供したい。日本語の語彙を増やすことは大切である。しかしそれ以上に、知っている日本語の単語の数が少なくてそれなりに子ども達が、日本の子ども達と「共に遊び・共に学ぶ」心のゆとりがもてる第一歩を育てたいと願っている。



小中学生部会は熱心に和やかに

## 「英語で遊ぼう」

花咲子供会有志

子供たちは今、大人達と同じように、パソコンやTVゲームなどのITの世界で楽しく遊んでいます。その遊びの中で、否応なしに英語に曝されているのが現実です。よく、語学を学ぶなら幼いときに始めるべきだと言います。幼い時ほど、何の抵抗もなく、外国語をすんなり受

け入れるもので、国際化のもと、英語の必要性は、親子ともども感じているのが昨今です。加えて、この4月から学校は土曜日が休みになり週休2日になりました。外国から来ている英語のALTの先生は、NIAで日本語を無償で教えて貰っているお返しに、「英語にもっと親しむ機会はないものか?」と提案され、まず最初に花咲子供会にて週末を有効利用すべく「英語で遊ぼう」の会を去年から数回実行しました。去年はALTのリサ・ブルーウィットさんと楽しみました。

5月19日、大久保公民館で今年初めての「英語で遊ぼう」の会を大久保近辺の有志にて開催しました。ALTの一人、ジョシュア・リンデンナウさんが参加されました。いきなりおもむろに、アメリカの地図を黒板に書き始めました。



A.L.Tのジョシュア君も大活躍

書き終わると、「私は、アラバマ州からきました。」「ジョシュと呼んでください。」と言い、「アラバマ州はどの辺か、誰か知っている人はチョークで書いて下さい。」

海の中に印をつける子には、皆で大笑いでした。いっぺんに、固かった雰囲気がとれました。雰囲気が和らいだところで、次に、ジョシュアさんが用意したフラッシュカードには、鳥、猿、鰐、猫の色違いの絵が描かれていました。それを皆さんに配り首から吊りました。順番に、「IS THIS YOUR BLUE BIRD?」「NO, IT ISN'T.」とか、「YES, IT IS.」とか、同じ色の色合わせで、会場は騒然となりながら、自然と英語を身につけていきました。「イス取りゲーム」も面白かったです。小一時間が、アッという間に過ぎました。子供たちの感想は、「楽しかった!」「もう終わり?」でした。ジョシュアさんは、「思っていたよりレベルが高いのにビックリした」とのことでした。帰国子女もいたせいでどうか?

子供たちの要望により次をいそがれています。

## 習志野さらっと2002 N.I.Aサンバチーム大奮斗

7月28日、真夏の太陽のもとに、今年も市民まつりが開かれました。N.I.Aサンバチームも60名の参加があり、3分の1の外国人の健闘もあり、華やかにさらっとサンバを踊りました。サンバコンテストでは28団体の参加の中からパフォーマンス賞に輝きました。

習志野市国際交流協会



出発前の美女軍団?



さあ!! 踊るぞ!!



踊りもクライマックス



フィナーレも近い

# N.I.A.Youth vol.42 SSサロンがスタート！

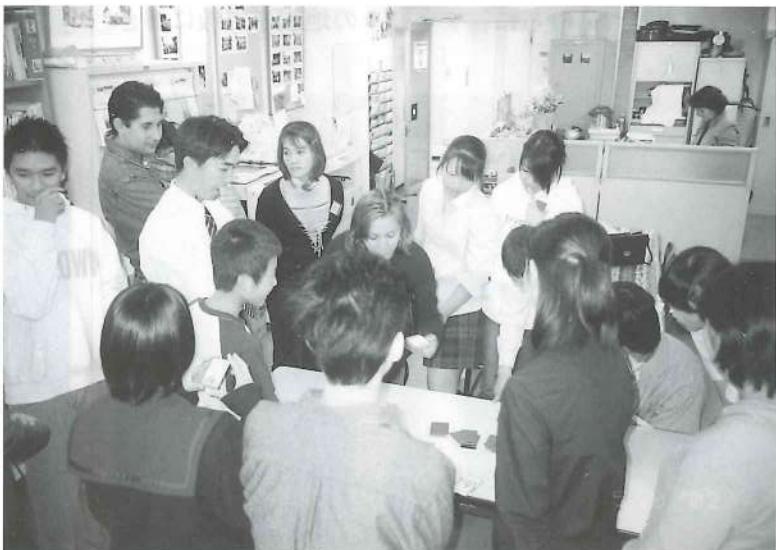
飛田美咲・滝田美帆・阿部典子  
( 青少年部会 )

## まいつきだいにどううび せいしうねんぶかい 毎月第2土曜日は青少年部会の日になりました！

私たち、青少年部会は今年度の活動として5月から毎月、SSサロンを開催しています。SSサロンは、軽食持ち寄り形式の情報交換&外国語会話&懇親会です。習志野市や船橋市など、近くに住んでいるALTの先生方やさまざまな地域の外国人の友達、知り合いなどに声をかけ、いろんな人とコミュニケーションを図るのが目的です。SSは「Second Saturday」の頭文字をとったもので、毎月第2土曜日の3時から5時くらいまでの2時間を開催しています。7月までに3回(5・6・7月)行いましたが、企画した私たちの予想を上回るたくさんの外国の方々が毎回集まり、私たち青少年部会のメンバーも興味深く話に耳を傾け、情報を交換しながら、ゲームも楽しんでいます。

### ひめ 姫かボーズか・・・

初回だった5月は、楽しんでもらうためにはどのような企画が良いか、本当に外国人は集まってくれるのか、などの不安でいっぱいでした。まずは企画者の私たちが楽しいと思えることで、しかも国際交流にもつながることをやろうと、歓談の途中で「坊主めくり」を行いました。私たちは懐かしく、外国人は「ボーズ」を興味深く??笑っていました。



「坊主めくり」に興じる

### ボディーランゲージ！

6月は歓談の途中に椅子取りゲームをしました。音楽が止まったら座ればいいという、簡単なものですが、始まれば体と体がぶつかり合う真剣勝負。2回戦は賞品争奪戦でさらにヒートアップ！



### 外国でもリーチ？

7月はbingoゲームで盛りあがりました。3回目にもなると、企画者の私たちも少しだけ余裕ができるでみんなで楽しみました。いつも来る方にはお手伝いもしていただいている。言葉や文化が違うことで交流できないのではなく、違いがあるからこそいろいろな事について、お互いに興味深く話合えるんだということを実感。いつのまにか言葉・手ぶり・絵など表現力が豊かになってる？（笑）

### さらに、チェックラッ(Check it out)！

今後の予定は、9月14日は「お茶会」SS会を、10月12日は「SS秋の運動会」か、「パークゴルフ大会」を行う予定です。誰でも楽しく、言葉が通じなくても絶対に楽しめます。海外にチョットでも興味のある方はぜひ一緒にネ！！

# 会員紹介／こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ／みなさん、どうぞよろしく！

## 日本でボランティアを！



にしじま  
西島メルバ（フィリピン出身）

わたしは、にしじまメルバともうします。フィリピンからきました。きよねんじゅういちがつに、にほんにきました。いま、やつパークタウンにすんでいます。しゅじんとは、ほんこんでいました。よねんまえにけっここんしました。フィリピンのきょううかいでけっこんしきをしました。ならしのしにはしゅじんのりょうしんがすんでいます。それで、わたしたちもならしのしにきました。ならしのしはきれいなところです。とくに、やつひがたとばらえんがすきです。にほんにきてからInternetでならしのしこうりゅうきょううかいをしりました。さいしょはにほんごきょうしつにきました。それからせんせいのしようかいで、ボランティアをはじめました。にほんごは、まいしゅうすいようびにべんきょうしています。にほんごはむずかしいです。ボランティアは、まいしゅうかようびです。こどもセンターでこどもたちとあそぶのはとてもたのしいです。これからもにほんのせいかつをたのしんでいきたいとおもいます。

## ボランティアは婦唱夫隨



やまだ まこと  
山田 孜（大久保在住）

皆さん、こんにちは。

習志野市に住んでもう25年以上になります。3人の娘達はこの町の小中学校を卒業、習志野市は彼女達の故郷となりました。現役を退いて、何か地域活動をしたいと思っていた矢先、NIA日本語ボランティアの募集が目にとまり、夫婦で講習を受けました。

私の方は、今年1月から、中国で育った日本人青年の日本語会話修得に協力しています。

最近、古い友人がアフリカの小国、ベナン共和国の名誉領事に就任しましたが、彼の所でベナン人のゾマホン氏に時々会う機会を得ました。はじめ、ボン・ジュール、ムシュー・ゾマホンと声をかけましたところ、日本語か英語でしゃべってくれと言われ、せっかくかじり始めた仏語会話の練習はストップ。彼は上智大学の大学院生で38歳、他の大学で教鞭を取っているようですが、母国語の仏語を始め、中国語、英語、スペイン語を自在にしゃべるのです。

獲得した言語の数だけ、人格を持つことができるとは、中近東で教えられたこと。ゾマホン氏の大きな目が実に深い表情をたたえていることに驚嘆しています。

私は、NIAで様々な国の人と会えることに期待しています。また、習志野市民として、多くの人々に会えることを喜びとしています。

どうぞよろしく。

## 将来はタイ語に翻訳を



のせ  
能勢ワニダー（タイ出身）

はじめまして、私はタイの首都バンコック出身です。日本に来る前にタイの学校で1年間日本語を学び、日本人の夫の帰国に合わせて2000年の5月に来日しました。はじめは日本語がよく話せないし、聞き取れなく、生活に困りました。週に3回日本語学校に通い、言葉や文法などが少しづつわかりはじめました。

ある日、子供の検診で保健所に行った帰り、タクシーの中にハンドバッグを忘れてしまい、別のタクシーで追いかけたり、警察に届けたりして大変でした。幸運なことにハンドバッグは帰ってきましたがこの経験で日本語の必要性がよくわかりました。

それから週5日、日本語学校に通いはじめ日本語能力試験2級にも合格することができました。昨年千葉県に引っ越したので、自宅から通える学校を探していました。2級に合格しても、まだまだちゃんとしゃべれませんし、学校へ行かないと特に漢字の読み方はすぐ忘れてしましました。インターネットで検索したところ、習志野市国際交流協会に日本語コースがあることがわかり、現在お世話になっております。まだまだ日本語が下手なのでこれからまたがんばりたいと思います。私は文学部出身で昔から本に関心があります。将来は日本語をタイ語に翻訳したいと思っています。これからも宜しくお願ひします。

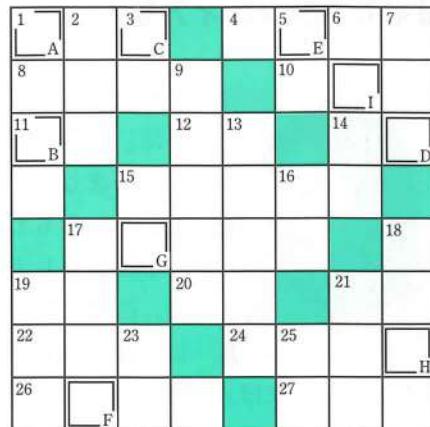
# Letsチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.59/プレゼント付！

## 〈Across〉

- The — rises in the east, and is sinking in the west.
- Opposite of WEST.
- Outline drawing showing the relative size, positions, etc..
- Which do you like coffee or green—?
- is time to go to school.
- Old boy.
- For example.
- The colour of growing grass.
- A place where strangers, travelers, etc., are lodged and fed.
- Topographical Engineers.
- House of Commons.
- Hectare
- Pole with a flat blade used in rowing.
- Fine thread-like growth on the skin of animals.
- Opposite of CLOSE.
- To request.

## 〈Down〉

- , spun, spun.
- Ultimo
- North America
- Air Transportation.
- See, saw, —.
- Label (e.g. For showing prices, addresses.)
- Opposite of SOUTH.
- Tree with smooth grey bark, shiny leaves, and nuts which may be eaten.
- It is time to — to school.
- Elevated Railroad.
- Number of things, mass of material, piled up like a small hill
- With no or very little light.
- Also
- He, —, him.
- Concerning.
- Automobile Association



〈出題者〉 御園生 馨 (編集部)

## 〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A～Iの文字をつなげてできたことばが正解です。

解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、FAX、Eメールで10月末日までにお送り下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に、図書券をプレゼントします。

「N.I.A.スクウェア」編集部まで。  
たくさんのご応募お待ちしています。

## 2002年 タスカルーサ市桜まつり 俳句コンテスト 入賞作品

### 成人の部

- 栗原七郎（谷津3丁目）寒雀 孫の落した 餅に集う
- 山口 博（東習志野4丁目）戦火去り 子ら寒空に 文字習う

### 小学校高学年の部

- 武藤加寿美（東習志野小6年）初詣 希望の馬で 駆け出そう
- 宮永 唯（袖ヶ浦西小6年）桜舞う 小さな背中に  
ランドセル

### 小学校低学年の部

- 小川千晴（谷津小3年）鳥になり 歩いてみたい 虹の上

## 編集後記

\*1965年初めて訪問したシンガポールで偶々遭遇したのが、ヒンズー教の祭りタイプサム (Thaipusam)。自分の体に針や串を刺して集団で街中を練り歩くあの残酷とも思える祭りは、今も庶民の「治療の願」「感謝の印」として続いているのかしら？(K.M.)

\*最近、日本も国際的になったなと感じる。電車の中では英語だけでなくスペイン語や韓国語も耳にするようになった。そこで今回はスペイン語に挑戦。「おやすみ→ブエナス ノーチェス」(Y.K.)

\*シンガポールを特集して気付いたことがあります。バチカンと同じく首都の無い都市国家、シンガポールは、ゴミ、煙草、ガム、犬の糞などのポイ捨てを厳しく取り締まり、とてもクリーンにしていることです。我が習志野でもそうしませんか？(Y.T.)

\*宇宙から見れば小さな星の地球、しかし何と多くの魅力ある国々、人々であふれているのでしょうか。

\*学生のみなさん！記事にもありました「SSサロン」に是非参加して下さい。楽しい交流がありますよ。

\*If you were to choose a second and third language what would you like to select and why? (S.M.J.)

\*夏は自然体験、秋はクラシックのコンサートに。指揮者の武藤さんにインタビューし、素晴らしい芸術に触れる大きさを再認識しました。(T.K.)

\*言葉より行動で歓迎を表現。ホストファミリーの熱い心は充分に伝わったと思います。(K.N)

## 前回の解答

### 〈解答〉 WORLD CUP

B	A	L	L		W	I	N
A	F	A		L	O	S	E
D	R		C	O		O	E
	S	H	O	O	T		D
O		M	U	S	I	C	
P	R		R	E		A	A
E	A	S	T		C	G	M
N	N	C		D	I	E	T

### 当選者

- 小林 寛明さん 中原 優作さん  
中原 悠希さん 棚倉 悠さん  
吉田 純さん 正解者は21名でした。

## N.I.A.スクウェア・第59号

発行2002年9月1日/発行責任者・白鳥 純

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・館川 裕

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.seaple-n.icc.ne.jp/nia>

<Eメール> nia@seaple-n.icc.ne.jp

メールアドレスとホームページアドレスが変更になりました。